

2025
8

消費者の部屋通信

事例

「お米の保存方法」について



展示

ご存知ですか？ 食と農林水産業の最新情報誌
～農林水産省広報誌Webマガジン「aff(あふ)」～
カレーのヒ・ミ・ツ

農林水産省

7月の「消費者の部屋」の展示を紹介します

6月30日～7月4日 民間企業の食育活動に触れてみよう！

さまざまな食育活動に取り組む民間企業にスポットを当て、その取組内容を紹介するとともに、セミナーや体験コーナーを設置



野菜350g 計量



血管年齢測定

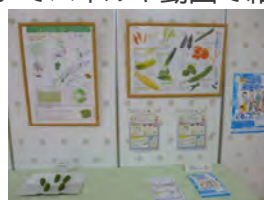


セミナーは連日盛況

(入場者数:858人)

7月7日～7月11日

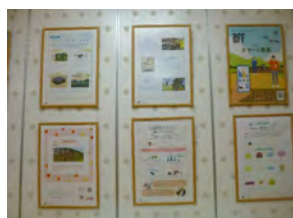
夏本番を迎え、この時期に出回る夏野菜の紹介と、夏野菜を用いた全国各地の様々な郷土料理についてパネルや動画で紹介



(入場者数:320人)

7月14日～7月25日 ご存知ですか？食と農林水産業の最新情報誌
～農林水産省広報Webマガジン「aff(あふ)」～

消費者の皆様、農林水産業関係者、農林水産省を結ぶWebマガジン「aff(あふ)」について、最新号や過去1年間の特集号を紹介するとともに、「aff公式instagram」で人気のあった動画等も放映



(入場者数:753人)

7月28日～8月1日 カレーのヒ・ミ・ツ

不思議な魅力がいっぱい詰まった「カレー」について、いろいろな種類のカレー製品やカレー粉の原料となるスパイスの展示に加え、カレー粉づくりの体験コーナーなども実施



カレー粉づくりの
体験コーナー

(入場者数:1,439人)

▶ デジタル展示

過去に実施した「消費者の部屋」展示の様子を、ホームページ上で一部動画でも配信しています。ぜひご覧ください。



今後の展示スケジュール

期間	展示名	展 示 内 容
8月18日 ～ 8月22日	食生活や農林水産業に関する取組情報をお届けします！	食料の持続的な供給を確保するためには、消費者、国民の皆さまが、生産などの実態を理解し、日々の購買行動によって、支えていただくことが重要です。 このため、農林水産省では、食育の推進、食文化の保護・継承等を通じて、食料・農業・農村に関する国民の理解を深めるだけでなく、食料の持続的な供給に寄与する「行動変容」につなげるよう、様々な施策間の連携を図りながら、効果的な消費者施策を推進しています。今回は、取組情報の一部をお届けします。
8月25日 ～ 8月29日	本の森に出かけよう～森のめぐみと白書の知識、山の仕事～	森林・林業・木材産業について広く興味を持っていただくため、漫画やイラストを中心としたパネルの展示や関連図書の展示、冊子等の配布を行います。また、令和6年度の森林・林業白書の内容をパネルで紹介いたします。
9月1日 ～ 9月5日	水際を守り畜産を支える！～動植物検疫探知犬のお仕事～	全国の国際空港などで働く動植物検疫探知犬。実は消費者のみなさんの生活にも関係する大きな任務を背負っています！動植物検疫探知犬が何のために働いているのか、どんな毎日を送っているのか、また水際検疫の重要性について、パネル展示や簡単な体験等、ご家族で楽しめる内容で分かりやすく紹介します。海外旅行など渡航の機会がある方にも役立つ情報をお届けします！
9月8日 ～ 9月12日	「見取り図」が名誉隊長を務める「紀州林業広め隊」活動報告！ 令和8年度和歌山県開催「第49回全国育樹祭」展示！	R7年夏、人気芸人「見取り図」のお二人が、名誉隊長を務める「紀州林業広め隊」が結成されました。吉本興業(株)の芸人が紀州林業の魅力やきのくにフォレストの生の声を発信する動画や記録を展示します！ また、令和8年秋に和歌山県で初めて開催される「第49回全国育樹祭」、及び、全国育樹祭の開催1年前プレイベントとして令和7年11月29日に開催される、「国民参加の森林づくりシンポジウム」を紹介します。
9月16日 ～ 9月19日	「ガムの楽しさと噛むことの大切さを考える！」 ～チューインガムでリラックス！～噛むことの大切さを考えよう～	現代の食生活では、「噛む」機会が減ってきています。しかし、「噛むこと」にはたくさんの良い効果があります。 ガムを通じて「噛むこと」の大切さをお伝えすると共に、ボイ捨て防止などガムを噛むときのマナーの周知を行います。 チューインガムの週では、日本チューインガム協会各社のチューインガムを展示し、チューインガムの機能・効用・製造工程、ガムのボイ捨て防止とマナーをパネルで紹介いたします。
9月22日 ～ 9月26日	べんりとおいしいのその先へ冷凍食品	10月は「冷凍食品月間」、10月18日は「冷凍食品の日」です！ 日本の冷凍食品はその誕生以来、1世紀にわたって進化を続けており、いまやあらゆる食シーンで欠かせないものとなりました。 今年も消費者の皆さんに向け、冷凍食品の歴史や優れた特性、家庭での保存・調理方法などについて、試食やパネル展示、DVD等を用いてお伝えします。益々進化する冷凍食品の品質やおいしさについて紹介します。
9月29日 ～ 10月3日	和牛といえば、鹿児島県産。～10月18,19日に東京食肉市場まつり2025が開催されます！～	鹿児島県は和牛の飼養頭数が全国で最も多く、日本で有数の畜産地帯です。また、令和4年に開催された全国和牛能力共進会では、9部門中6部門で首席を獲得しており、品質においても高い評価をいただいています。 さて、10月18,19日に開催される東京食肉市場まつり2025において「鹿児島黒牛」が推奨銘柄牛に選ばれました。まつりに先駆けて、鹿児島黒牛をはじめとする鹿児島県産和牛や特産品、観光の魅力をポスター展示等で紹介いたします。
10月6日 ～ 10月10日	毎月3日から7日は「さかなの日」もっとさかなを食べよう！	水産庁では、毎月3日から7日までを「さかなの日」に制定し、官民協働で水産物の消費拡大に向けた取組を行っています。 本展示では、「さかなの日」のコンセプトである「さかな×サステナ(魚を選択して食べることは持続可能な消費行動)」の紹介とともに、「さかなの日」の賛同メンバーである民間企業や漁業者の取組、全国規模の魚食普及イベントであるFish-1グランプリ(11月30日開催)、資源管理や環境配慮への取組を証明する水産エコラベルについて紹介します。 また、漁師が選んだ本当に美味しい自慢の魚、プライドフィッシュの加工品を用いた試食を実施します(予定)。
10月14日 ～ 10月17日	見て！ふれて！味わって！森からの恵み「特用林産物」について知ろう	10月15日は「きのこの日」です。きのこ類をはじめ、木炭、竹、漆等の特用林産物は食品、エネルギー、日用品など様々な形で私たちの生活を豊かにしている身近な森林の恵みです。展示では代表的な特用林産物であるきのこや木炭、竹製品、漆器等について、実物やパネルを用いて紹介します。
10月20日 ～ 10月24日	さつまいも・じゃがいもの週～おいもの魅力～	さつまいも・じゃがいもは、家庭やレストランで調理する青果用だけではなく、工場でポテトチップスやポテトサラダなどに加工する加工用、焼酎の原料となるアルコール用、でん粉の原料用など様々な用途に利用され、それぞれの用途に合った多くの品種が作られています。 本展示では、まだ市場に回っていないような新しい品種やいもでん粉から作られる製品などをご紹介します。
10月27日 ～ 10月31日	木材利用促進月間 ～木づかい運動でウッド・チェンジ！～	10月は「木材利用促進月間」です。国産の木材を使うことは、私たちの生活に潤いを生むだけでなく、「伐って、使って、植えて、育てる」というサイクルを通じて、健全な森林の維持や地球環境に貢献することにもつながります。来場者に木を使うことの素晴らしさを知っていただき、国民運動として「木づかい運動」を盛り上げてもらうよう、本展示では、木の良さや木材利用の意義に関するパネル展示や、暮らしの中のウッド・チェンジにつながる木製品等を多数ご紹介する予定です。

展示内容等は変更することがございますので、最新情報は消費者の部屋展示ホームページをご確認ください。

「消費者の部屋」では、過去の展示の様子や今後の展示予定などをホームページで公開しています。



展示HP



消費者の部屋とは？

農林水産省北別館の1階にて、農林水産行政に関する展示を行っています。

「霞ヶ関」駅 A5出口すぐの北別館入口から入館していただくと便利です。
問合せ先:03-3591-6529 (平日10:00～17:00)

7月の消費者相談状況を紹介します

備蓄米の販売 に関する問合せが最多

- ・ 備蓄米の販売方法
- ・ どこで販売しているのか

Topic 食品の安全、食品衛生について

輸入食品(米、加工食品等)の安全性や、虫のわいた米、食中毒に関する相談など。

▶ 相談者の内訳

項 目	件 数	比 率
一般消費者・消費者団体	137件	72%
高校生・大学その他の学生	11件	6%
農林水産業従事者	9件	5%
事業者	6件	3%
相談業務関係者	5件	3%
中学生以下	4件	2%
マスコミ関係者	3件	2%
その他	15件	8%

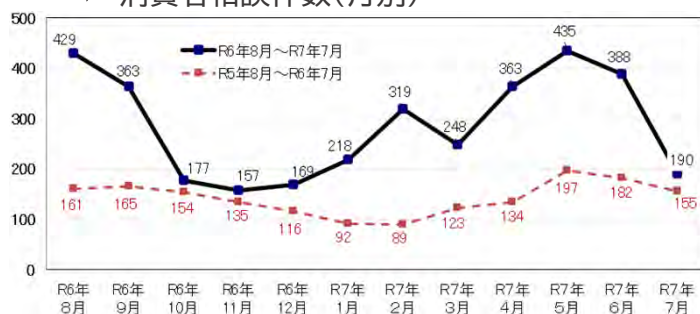
▶ 相談区分の内訳

項 目	件 数	比 率
販売・サービス、輸出入・貿易、物価等	60件	32%
法令・制度	23件	12%
食品の安全・衛生	16件	8%
品質・規格・基準、機能・効能、商品知識	13件	7%
農林水産省が行う事業	11件	6%
食品表示	8件	4%
統計	2件	1%
その他	57件	30%

※ 件数は、関連する相談区分をまとめて集計

7月の消費者相談件数は 190件、こども相談件数は 4件 でした。

▶ 消費者相談件数(月別)



▶ こども相談件数(月別)



問合せ先

消費者相談 : 03-3591-6529 (平日10:00~17:00)
こども相談 : 03-5512-1115 (平日10:00~17:00)



7月に寄せられた消費者相談の事例を紹介します

? 購入したお米を保管する際に気をつけることを教えてください

米を保管する際のポイントをご紹介します

POINT

- ☆ 長期保管を避け、**約1か月で食べきる。**
- ☆ 日光の当たらない、**低温で温度変化の少ない場所**に保管。
- ☆ 米の害虫は15℃以下になると活動が鈍り、増殖することができなくなるため、厚手のビニールに包み、冷蔵庫の野菜室に保管。



米にまつわる豆知識

1 米にわく虫について

- ▶ 米の害虫として、ノシメダラメイガ(蛾)、コクゾウムシ(甲虫)。
- ▶ これらの虫は、米、小麦粉、パスタ、ビスケット、ペットフードや、それらの屑がエサ。
- ▶ 虫が自然発生することはないので、何らかのルートで家屋に浸入し、気がついたら「虫がいた」ということ。

2 米に混ざっている真っ白い米（「乳白粒」「しらた」）

- ▶ 米が実る際の初期から中期に、高温や低日照量の条件下だと発生。
- ▶ 米のデンプンが十分に生成できないことで、米の中に空気が多く入り、光が乱反射して白く見える。
- ▶ 食べても害はなし



参考

① 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構ホームページ「食品害虫 コラム 米びつ害虫の勘違い」

② 米穀安定供給確保支援機構ホームページ「お米Q&A」

- ・玄米と白米では、どちらのほうがか虫はつきやすいのでしょうか。
- ・お米をおいしく食べることができる保存期間はどのくらいですか。
- ・買ったお米に白いお米が混ざっていることがありますが、これはなんですか。



7月の学校訪問状況を紹介します

学校訪問とは？

小・中・高校の修学旅行や校外学習のグループ活動をされる生徒さんを対象に農林水産省への訪問を受け付けています。
展示見学・農林水産省の業務説明・省内見学を行います。



7月1日
東京都東久留米市立
中央中学校(11名)



7月17日
東京都立
六本木高等学校(14名)



7月29日
新潟県立
新潟高等学校(17名)



7月30日
富山県立
魚津高等学校(18名)



7月31日
東京都成城学園
中学校高等学校(16名)

生徒さんから寄せられた質問

農林水産省では
食品の安全性を
確保するために
どのようなこと
を行っています
か。

回答

《農場での安全管理》

食べ物を作るために必要な、農薬・肥料、家畜のエサ・お薬の正しい使い方を定め、食べ物の安全を守っています。

《正確な情報提供》

お店に並ぶ食べ物に正しい表示がなされているかを監視、指導しています。

《病気や害虫から日本の農業・畜産業を守る》

日本にはいない植物の病気や害虫、家畜の病気が海外から持ち込まれないようにするため、全国の港や空港にある植物防疫所と動物検疫所で植物や畜産物の検査をしています。

また、農場などで病気や害虫が発生した場合は、被害が大きくなるようにするために、農家さんへの指導や情報提供を行い、必要に応じて農薬の散布や消毒などを行います。

《国民のみなさんへの情報発信や意見交換》

食べ物の安全に関する情報を動画やウェブページなどでわかりやすく発信しています。

消費者のみなさんをはじめ、農家さんや食品会社の方などと、食の安全などについて話し合う意見交換会も開いています。

地方における「消費者の部屋」を紹介します =北海道農政事務所=

「消費者コーナー」では、2か月ごとに展示テーマを変え、消費者の皆様に、食の安全や身近な食生活の情報、農林水産省の取組の情報などを提供しています。



消費者の部屋WEB版

消費者の皆様が家庭でも展示内容をご覧になれるよう設置しています。

ホームページはこちら



移動消費者の部屋

より多くの方々に消費者の部屋の展示内容をご覧いただくため、省外の他会場にて「移動消費者の部屋」を開設し、情報提供しています。

▶ 令和7年6月10日～12日にJR手稲駅自由通路「あいくる」にて「いつもの食を、いつまでも」をテーマに第1回移動消費者の部屋を実施しました。



移動消費者の部屋の様子



▶ 今年度は、8月、10月、12月にも札幌市内での開催を予定しています。

北海道農政事務所は、

JR「札幌」駅から南へ約6km、路面電車の幌南(こうなん)小学校前停留場で下車してから徒歩約3分の場所に位置しており、1階の来場者受付スペースに「消費者コーナー」を設置しています。

問合せ先

〒064-8518

北海道札幌市中央区南22条西6丁目2-22 エムズ南22条ビル

北海道農政事務所消費・安全部消費生活課 Tel:011-330-8813(直通)

8月の地方における「消費者の部屋」の展示予定をお知らせします

各地方農政局等	展示期間	展示テーマ
北海道農政事務所 (北海道札幌市)	7月1日(火)～8月29日(金)	食料・農業・農村基本法の紹介
東北農政局 (宮城県仙台市)	8月1日(金)～8月29日(金)	米粉の利用拡大に向けて
関東農政局 (埼玉県さいたま市)	7月14日(月)～8月4日(月)	関東の農業農村整備 ～水土里(みどり)を未来につなぐ～
	8月1日(金)～8月29日(金)	「環境や人権等の持続可能性に配慮した マーク」の紹介
	8月4日(月)～8月25日(月)	棚田ってすごい！ ～田んぼの働き、いくつ知ってる？～
	8月25日(月)～9月19日(金)	野菜を食べよう！8月31日はやさいの日
北陸農政局 (石川県金沢市)	8月1日(金)～8月29日(金)	知ればもっと食べたくなる！ 水産物のアレコレ
東海農政局 (愛知県名古屋市)	8月25日(月)～9月5日(金)	畜産の振興と公衆衛生の向上のために 「動物検疫所の仕事」
近畿農政局 (京都府京都市)	8月1日(金)～8月29日(金)	森林(もり)に出かけてみませんか!!
中国四国農政局 (岡山県岡山市)	7月28日(月)～8月8日(金)	農山漁村をまるっと楽しもう!!
	8月12日(火)～8月22日(金)	私たちが災害に備えてできること ～食品の家庭備蓄のすすめ～
	8月25日(月)～9月5日(金)	ベジフルミュージアム 野菜と果物の魅力発信!!
九州農政局 (熊本県熊本市)	8月4日(月)～8月15日(金)	見たい！知りたい！九州農業2025
	8月18日(月)～8月29日(金)	農薬の豆知識
沖縄総合事務局 (沖縄県那覇市)	8月6日(水)～8月15日(金)	おうちで予防できる！食中毒予防講座
	8月18日(月)～8月29日(金)	2025年版 ジュニア農林水産白書のご紹介

展示テーマは変更することがございますので
最新情報は各地方農政局等ホームページをご確認ください。

編集・発行(8月20日)

農林水産省 消費・安全局 消費者行政・食育課「消費者の部屋」